



製品安全データシート

製品名 Loctite Pipe Repair Tape
初版 平成 16 年 7 月 13 日
改訂 平成 21 年 10 月 13 日
管理番号：157264-1

Product Safety & Regulatory Affairs

1. 化学物質等及び会社情報

製品コード： 157264
製品名： **Loctite Pipe Repair Tape**
会社名： ヘンケルジャパン株式会社
住所： 東京都品川区東品川 2-2-8 スフィアタワー天王洲
電話番号： 045-758-1820 (ヘンケル技術センター コールセンター)
ファックス番号： 045-758-1826 (ヘンケル技術センター コールセンター)

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

皮膚腐食性 / 刺激性	区分3
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器感作性: 区分1 皮膚感作性: 区分1

* 記載の無いものは分類対象外、または分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語： 危険

危険有害性情報： 軽度の皮膚刺激

吸入するとアレルギー、ぜん（喘）息又は呼吸困難を起こすおそれ
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ

注意書き：

【安全対策】

- 粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーの吸入を避けること。
- 換気が十分でない場合には、呼吸用保護具を着用すること。
- 保護手袋を着用すること。
- 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

【救急処置】

- 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断 / 手当てを受けること。
- 吸入した場合：呼吸が困難な場合には、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
- 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断 / 手当てを受け



製品安全データシート

製品名 Loctite Pipe Repair Tape
初版 平成 16 年 7 月 13 日
改訂 平成 21 年 10 月 13 日
管理番号：157264-1

Product Safety & Regulatory Affairs

ること。特別処置が緊急に必要である。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

製品ラベルの有害性情報は、個別の製品安全データシートの記載内容と異なる場合があります。

その他

最重要危険有害性

分類の名称： その他の有害性物質

有害性： MDI 蒸気及びミストは眼及び上部呼吸器、気管を刺激する。体質によっては、短時間・低濃度の接触でも喘息様症状を起こすことがある。変異原性を示す。

物理的及び化学的危険性 可燃性である。光、空气中で変色する場合がある。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物： 混合物

化学特性：

危険有害成分及び濃度

成分	w t %
ウレタンプレポリマー	90 ~ 99
4,4 -ジフェニルメタンジイソシアネート*	3.8

* 労働安全衛生法通知対象物質

4. 応急処置

眼に入った場合： 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。清浄な水で最低 15 分間眼を洗浄した後、直ちに医師の処置を受ける。

皮膚に付着した場合： 多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。製品に触れた部分を水または微温湯を流しながら洗浄する。外観に変化があるか、痛みが続く場合は直ちに医師の処置を受ける。皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。

吸入した場合： 直ちに医師の診断、手当てを受けること。呼吸に関する症状が出た場合には、医師の診断、手当てを受けること。皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。被災者を空気の新鮮な場所に移動させ、直ちに医師の処置を受ける。空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

飲み込んだ場合： 水で口の中を洗浄し、コップ 1-2 杯の水又は牛乳を飲ませて、直ちに医師の処置を受ける。無理に吐かせてはならない。被災者の意識がない場合は、口から何も与えてはならない。

5. 火災時の措置

消火方法： 火元への燃焼源を断ち、適切な消化剤を使用して消火する。消火作業は可能な限り風上から行う。着火し



製品安全データシート

製品名 Loctite Pipe Repair Tape
初版 平成 16 年 7 月 13 日
改訂 平成 21 年 10 月 13 日
管理番号：157264-1

Product Safety & Regulatory Affairs

ていないドラム・設備などの、延焼・加熱防止や破裂の防止に努める。溶融した製品に水散布すると熱水または溶融物が飛び散ることがある。

消火を行う者の保護 消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する

消火剤： 粉末ドライケミカル、二酸化炭素、大量の水、泡消化剤、乾燥砂

6．漏出時の措置

人体に対する注意事項：作業には必ず保護具(手袋、眼鏡、有機ガス用防毒マスク等)を着用する。多量の場合、人を安全に退避させる。必要に応じて、換気を行う。

環境に対する注意事項：漏出物を直接河川や下水に流してはならない。

除去方法：湿潤剤や水で中和し、必要であればイソシアネート基に対し 1 % のアンモニアを加えて下さい。加熱溶融した製品が漏出した場合は、製品が冷えてから取り除く。溶融状態で回収する必要がある場合は、必ず保護眼鏡、マスク、手袋、長袖作業服等の保護具を着用してから作業する。

7．取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

注意事項：火気注意。眼及び皮膚への接触を避ける。

安全取扱い注意事項：本製品の危険性、作業内容について作業者を事前に教育する。適切な保護具(手袋、眼鏡、マスク等)を着用する。水、湿気が混入した場合、二酸化炭素の発生により容器内圧が上昇し、破裂する危険がある。適切な保護具を着用した作業員以外は退避させ、容器の蓋をゆっくりはずし、二酸化炭素がぬけるようにする。液が飛散する可能性があるため、回収できるような措置をとる。また、水分が再混入しないよう充分注意し、二酸化炭素の発生が止まったら、容器は密閉せずに「廃棄上の注意」の記載内容に従って廃棄する。

保管

適切な保管条件 密閉した容器に保管する。直射日光を避け、換気の良い暗所に保管する。火気注意。容器を開放した後は、窒素ガスで置換し、密栓する。好ましくは 25 前後で保管する。火気厳禁・関係者以外立入禁止の標識を掲示する。

安全な容器包装材料 情報なし

8．暴露防止及び保護措置

設備対策：屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置の設置を行う。取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

許容濃度(4,4 -ジフェニルメタンジイソシアネート)：日本産業衛生学会 TWA 0.05 mg/m³ (2000)

保護具

呼吸器用の保護具	空気呼吸器(JIS T 8155)、送気マスク(JIS T 8153)、防毒マスク(JIS T 8152)
手の保護具	ゴム保護手袋
眼の保護具	ゴーグル型又は全面保護眼鏡



製品安全データシート

製品名 Loctite Pipe Repair Tape

初版 平成 16 年 7 月 13 日

改訂 平成 21 年 10 月 13 日

管理番号：157264-1

Product Safety & Regulatory Affairs

皮膚及び身体の保護具 不浸透性の長袖作業衣
適切な衛生対策 情報なし

9 . 物理的及び化学的性質

外観等：	固体	爆発特性：	データ無し
臭い：	無し	爆発限界：	データ無し
pH：	データ無し	蒸気圧：	データ無し
沸点：	648.9	蒸気密度：	データ無し
融点：	データ無し	比重：	1.22
分解温度：	データ無し	水溶解性：	不溶、水に触れると反応する
引火点：	187	オクタノール/水分配係数：	データ無し
発火点：	データ無し		

10 . 安定性及び反応性

安定性	適切な保管条件下では安定。
避けるべき条件	水分やその他イソシアネートと反応するものと触れたり、温度が 204 以上になると重合反応が起こるおそれがある。
危険有害な分解生成物	火災時に一酸化炭素、窒化ガスを発生する恐れがある。
その他	水、アミン、強塩基、アルコールと反応する恐れがある。 銅合金や、アルミを腐食する。

11 . 有害性情報

製品としてのデータ無し

原料情報：4,4 -ジフェニルメタンジイソシアネート

急性毒性（吸入：粉じん） 区分 2

皮膚腐食性・刺激性 区分 2

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 区分 2A-2B

呼吸器感作性 区分 1

皮膚感作性 区分 1

特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露） 区分 3(気道刺激性)

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） 区分 1（呼吸器）

12 . 環境影響情報

現時点でデータ無し

13 . 廃棄上の注意



製品安全データシート

製品名 Loctite Pipe Repair Tape
初版 平成 16 年 7 月 13 日
改訂 平成 21 年 10 月 13 日
管理番号 : 157264-1

Product Safety & Regulatory Affairs

都道府県条例に基づき焼却するか、産業廃棄物として許可を受けた専門業者に委託する。

14. 輸送上の注意

UN Number: 無し

IATA: 該当しない

IMO: 該当しない

輸送の特定の安全対策取扱い及び保管上の注意項の他、次の項目について注意する。容器の栓が確実に及び条件に施され、漏れがなくまた所定の表示が行なわれていること。運行管理者は取扱いや緊急事態発生場合の処置方法等に関し輸送計画をたてる。そのほか、危険有害性の要約、取扱い及び保管上の注意、安全性及び反応性の項を参照するほか、関係法令の定めるところに従う。

15. 適用法令

消防法 : 危険物に該当しない

労安法 : 名称等を通知すべき有害物 (4,4 -ジフェニルメタンジイソシアネート)

PRTR 法 : 第 1 種指定化学物質 (政令番号 448- 4,4 -ジフェニルメタンジイソシアネート)

毒劇物法 : 該当しない

16. その他の情報

参考文献 : 90396-0 314086

*1 : 日本化学会・防災指針 No.98「4,4 ジフェニルメタンジイソシアネート(MDI)」(1989 年)

JIS Z 7250 : 2005

本 MSDS の内容に関するお問い合わせ :

ヘンケルジャパン株式会社
製品安全性及び規制業務担当
横浜市磯子区新磯子町 27-7
Tel: 045-758-1780
Fax: 045-758-1771
作成者 近藤 由紀子

本製品の技術的なお問い合わせ :

ヘンケルジャパン株式会社
技術サービスグループ
横浜市磯子区新磯子町 27-7
Tel: 045-758-1810
Fax: 045-758-1753

危険・有害性の評価は必ずしも十分でないので取扱いには十分注意して下さい。この情報は、新しい知見及び試験等により改正されることがあります。又、注意事項は通常取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。